

海外安全対策情報（2019年4月～6月）

2019年7月
在ハンブルク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

- (1) 当館管轄州（ハンブルク州，ニーダーザクセン州，シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン州，ブレーメン州）の治安情勢については，各州とも比較的良好に推移しているが，依然としてテロの潜在的な脅威は存在しており，2019年5月20日にはシュレスヴィッヒ・ホルシュタイン州（Neumuenster市）において，過去にISにテロ資金を供与した容疑で4名が逮捕されている。
- (2) 2019年7月以降も「トライアスロン大会（IRONMAN HAMBURG）」「自転車プロレース（EuroEyes Cyclastics）」「移動遊園地」等の不特定多数の人が集まるイベントが予定されているため，引き続き，こうしたイベントの参加者を狙ったテロに注意する必要がある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 空港，駅，電車，飲食店，ホテルロビー，メッセ会場等の不特定多数の人が集まる場所において，すりや置き等の窃盗被害が多発しているため，所持品や貴重品の管理には十分注意する必要がある。
- (2) 日照時間が長くなり，日が暮れるとすぐに深夜の時間帯となるが，深夜の一人歩きは路上強盗等の犯罪被害に遭うリスクが高まるため，特に注意する必要がある。
- (3) 一戸建て，マンションを問わず，空き巣被害が多発しているため，旅行や出張等で自宅を不在にする場合には，以下のとおり外部から留守宅の判別が可能とならないように注意する必要がある。
ア スマート照明や点灯タイマー等を使用して日没前から就寝までの時間帯に合わせて室内灯を点灯させる。
イ 旅行や出張等の情報をインターネットで公開しない。無用に口外しない。
ウ 自宅を長期不在にする場合には，郵便受けに新聞や郵便物を貯めないように隣人に改修を依頼する。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件は認知していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していません。

5 対日感情

良好です。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

注意を要する具体的な情報は認知していません。